



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社カオナビ 上場取引所 東
コード番号 4435 URL https://corp.kaonavi.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長Co-CEO (氏名) 佐藤 寛之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 橋本 公隆 TEL 03 (6633) 3258
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第3四半期の業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後営業利益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,531	27.5	600	68.5	502	91.2	500	93.3	282	63.6
2023年3月期第3四半期	4,339	34.3	356	33.0	263	13.6	258	14.4	172	13.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	24.34	22.91
2023年3月期第3四半期	14.93	14.02

(注) 調整後営業利益 = 営業利益 + 株式報酬費用 + M & Aによるのれん償却費 + その他一時費用

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,243	1,787	34.1
2023年3月期	4,623	1,491	32.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,787百万円 2023年3月期 1,491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		調整後営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	7,600	26.9	765	61.4

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
2. 営業利益、経常利益及び当期純利益につきましては、具体的な予想数値の開示は行っておりません。
3. 上記は個別決算の業績予想です。
4. 当社は、2024年3月期第4四半期より連結決算へ移行いたします。連結決算開始の理由、2024年3月期の連結業績予想につきましては、本日発表の「連結決算への移行及び2024年3月期連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	11,594,600株	2023年3月期	11,581,700株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	280株	2023年3月期	280株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	11,588,432株	2023年3月期3Q	11,549,622株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、業績の予想等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2024年2月14日(水)に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算補足説明資料はTDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、「“はたらく”にテクノロジーを実装し、個の力から社会の仕様を変える」というパーパスのもと、テクノロジーによって一人ひとりの個性や才能を理解することで、個人のキャリア形成や働き方が多様化される社会の実現を目指しております。その実現のため、「人材情報を一元化したデータプラットフォームを築く」というビジョンを掲げ、企業の人材情報をクラウド上で一元管理し、データ活用のプラットフォームとなるタレントマネジメントシステム『カオナビ』を提供しております。

生産年齢人口の減少を背景に、生産性の向上、多様な働き方への対応、人材の定着や離職防止、採用の強化など、企業はさまざまな人事課題を抱えております。その解決に向けて、タレントマネジメントシステムの導入ニーズは高まっており、その市場は今後さらなる拡大が見込まれております。

当社は、中期経営方針として、「継続的なARR（注1）の成長」、「収益性の向上」、「非財務的活動の推進」の3つを掲げております。

継続的なARRの成長に向けた施策の一環として、人材データベースを軸にさまざまなサービスと連携して付加価値を高めることで、顧客に最適なUX（顧客体験）を提供する人材データプラットフォームの構築を目指しております。当事業年度においては、既存機能のさらなる改善に加えて、新機能の開発に注力することで、人材データプラットフォームを拡大・進化させていく方針です。

このような方針のもと、当社は顧客体験価値の向上に向けた機能の開発・改善に注力し、複数システムとの自動連携を簡単に行える「カスタムCSV」、人的資本の情報開示に必要なデータを一覧表示できる「人的資本テンプレート」、オンボーディング促進とエンゲージメント向上を目的としたゲームアプリ「カオパス」、上場企業の人的資本開示情報を一覧化した「人的資本データnavi β版」をリリースしました。また、積極的な人材採用や育成をはじめとした組織体制の強化、サービス認知度向上を加速するためのマーケティング活動、既存顧客に対するカスタマーサクセスの取り組みなどに注力してまいりました。

この結果、当第3四半期会計期間末におけるARRは前年同期比28.6%増の7,624百万円、『カオナビ』の利用企業数は同21.3%増の3,492社、ARPU（注2）は同6.0%増の182千円となりました。また、解約率（注3）の直近12ヶ月平均は0.46%（同0.04ポイント減）となり、低い水準を維持しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間における当社の経営成績は売上高5,530,595千円（前年同四半期比27.5%増）、調整後営業利益（注4）600,322千円（同68.5%増）、営業利益502,265千円（同91.2%増）、経常利益499,602千円（同93.3%増）、四半期純利益282,041千円（同比63.6%増）となりました。

なお、当社の事業はタレントマネジメントシステム『カオナビ』の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(注) 1. ARR

Annual Recurring Revenueの略で、四半期末のMRR（Monthly Recurring Revenueの略で月額利用料の合計）を12倍して算出しています。なお、MRRは管理会計上の数値です。

2. ARPU

Average Revenue Per Userの略で、四半期末のMRRを利用企業数で除して計算しています。

3. 解約率

MRRの解約率を示しており、当月の解約により減少したMRRを前月末のMRRで除して計算しています。

4. 調整後営業利益

営業利益+株式報酬費用+M&Aによるのれん償却費+その他一時費用

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末における資産合計は5,242,835千円となり、前事業年度末に比べ619,923千円増加いたしました。これは主に、敷金が303,619千円減少したものの、現金及び預金が955,217千円増加したことによるものです。

（負債）

当第3四半期会計期間末における負債合計は3,455,888千円となり、前事業年度末に比べ324,286千円増加いたしました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が327,381千円減少したものの、前受収益が547,733千円増加したことによるものです。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,786,947千円となり、前事業年度末に比べ295,636千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上282,041千円があったことによるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。詳細については、本日開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,399,662	4,354,879
売掛金	245,719	259,615
契約資産	13,721	52,192
前払費用	222,411	177,465
その他	2,648	19,951
貸倒引当金	△1,426	△3,343
流動資産合計	3,882,736	4,860,759
固定資産		
有形固定資産		
建物	213,806	28,137
減価償却累計額	△142,749	△5,076
建物(純額)	71,056	23,061
工具、器具及び備品	93,553	44,145
減価償却累計額	△75,989	△26,615
工具、器具及び備品(純額)	17,564	17,530
有形固定資産合計	88,620	40,591
無形固定資産		
商標権	221	164
ソフトウェア	5,549	2,317
無形固定資産合計	5,770	2,481
投資その他の資産		
投資有価証券	86,097	86,097
敷金	376,877	73,258
長期前払費用	3,164	—
繰延税金資産	179,648	179,648
投資その他の資産合計	645,786	339,003
固定資産合計	740,176	382,076
資産合計	4,622,912	5,242,835

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	87,270	103,103
1年内返済予定の長期借入金	262,381	—
未払金	199,347	179,122
未払費用	211,134	284,047
未払法人税等	73,022	112,116
未払消費税等	102,736	76,769
預り金	18,661	9,218
前受収益	2,072,597	2,620,329
契約負債	39,454	47,944
賞与引当金	—	22,446
その他	—	792
流動負債合計	3,066,602	3,455,888
固定負債		
長期借入金	65,000	—
固定負債合計	65,000	—
負債合計	3,131,602	3,455,888
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,143,777	1,144,617
資本剰余金		
資本準備金	1,133,777	1,134,617
その他資本剰余金	—	11,916
資本剰余金合計	1,133,777	1,146,532
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△785,217	△503,176
利益剰余金合計	△785,217	△503,176
自己株式	△1,026	△1,026
株主資本合計	1,491,310	1,786,947
純資産合計	1,491,310	1,786,947
負債純資産合計	4,622,912	5,242,835

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,339,234	5,530,595
売上原価	1,089,633	1,283,518
売上総利益	3,249,601	4,247,077
販売費及び一般管理費	2,986,854	3,744,813
営業利益	262,747	502,265
営業外収益		
受取利息	16	20
雑収入	43	266
営業外収益合計	59	286
営業外費用		
支払利息	3,231	2,221
株式交付費	1,156	480
固定資産除売却損	—	248
営業外費用合計	4,387	2,949
経常利益	258,419	499,602
特別損失		
本社移転費用	—	86,755
特別損失合計	—	86,755
税引前四半期純利益	258,419	412,847
法人税等	86,007	130,806
四半期純利益	172,411	282,041

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(重要な後発事象)

(株式取得による子会社化)

当社は2023年12月7日開催の取締役会において、ワークスタイルテック株式会社（以下「WST社」という。）の株式取得及びWST社が実施する第三者割当増資の引受により、WST社を子会社化することを決議し、2024年1月12日付で当該株式取得等によるWST社の子会社化が完了いたしました。

1. 株式取得の目的

当社は、「“はたらく”にテクノロジーを実装し、個の力から社会の仕様を変える」というパーパスのもと、テクノロジーによって一人ひとりの個性や才能を理解することで、個人のキャリア形成や働き方が多様化される社会の実現を目指しております。その実現のため、「人材情報を一元化したデータプラットフォームを築く」というビジョンを掲げ、企業の人材情報をクラウド上で一元管理し、データ活用のプラットフォームとなるタレントマネジメントシステム『カオナビ』を提供しております。

当社は現在、中期経営方針で掲げた「継続的なARRの成長」に向けた施策の一環として、人材データベースを軸にさまざまなサービスと連携して付加価値を高めることで顧客に最適なUX（顧客体験）を提供する人材データプラットフォームの構築を目指しております。

一方、WST社は、クラウド労務管理システム『WelcomeHR』を提供しております。

WST社の子会社化により、人材データプラットフォームの中に、当社グループの提供する新たな機能として労務管理が追加されることとなります。また、当社が事業展開していない非正規雇用市場において、WST社のノウハウを生かすことが可能と考えております。

今後は、当社のタレントマネジメントシステム『カオナビ』と、WST社の提供するサービスとの連携によって、顧客により良いUX（顧客体験）を提供することに取り組んでまいります。また、当社の培ってきたクラウドサービス運営のノウハウをWST社に伝達することで、WST社の事業成長を促進してまいります。

2. 株式取得の相手先の氏名又は名称

ドレ・ロドリゲス・グスタボ、MF-GB 2号投資事業有限責任組合、他

3. 買収する会社の名称、事業内容、規模

(1) 名称	ワークスタイルテック株式会社
(2) 所在地	東京都港区南青山二丁目15番5号FARO・1F
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 ドレ・ロドリゲス・グスタボ
(4) 事業内容	クラウド労務管理システムの開発・製造・販売
(5) 資本金	136,500千円
(6) 設立年月日	2016年4月

4. 株式取得の時期

2024年1月12日

5. 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

(1) 取得する株式の数		10,682株
(2) 取得価額	WST社のA種優先株式及び普通株式	726,377千円
	仲介手数料・アドバイザー費用等 (概算額)	29,918千円
	合計 (概算額)	756,295千円
(3) 取得後の持分比率		51.8%

6. 支払資金の調達及び支払方法

自己資金及び銀行からの借入によって株式取得等を行います。

7. その他

本株式取得等により、WST社は当社の連結子会社となり、当社は当事業年度末より連結決算に移行する予定であります。また、当社の連結財務諸表上ののれんが発生する見込みではありますが、のれんの金額及び会計処理等につきましては、現時点では確定しておりません。